



油圧パイプベンダー

SPB 520N

SPB1025N

取扱説明書

- この取扱説明書は、油圧パイプベンダーの基本的な使用方法および扱い方について説明しております。

ご使用前によくお読み頂き安全作業のため使用上の注意を守って正しくお使い下さい。

 **SUPERTOOL**

■用 途

厚肉(JIS規格)のステンレス管・ガス管・水道管・電設管の曲げ加工(90°迄)

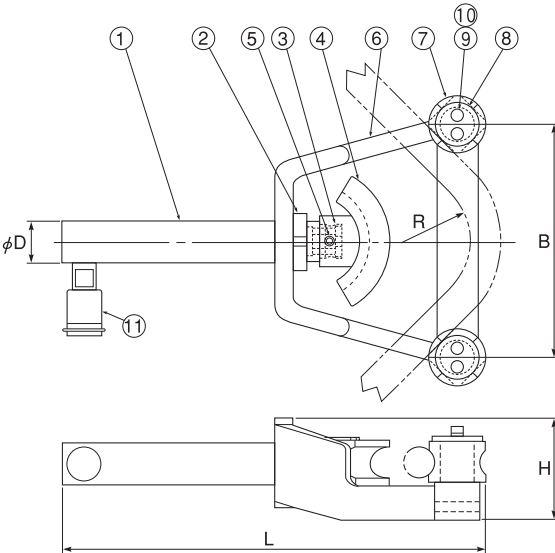
■特 長

- 軽量・コンパクト・堅牢・シンプル。
- 油圧シリンダー内蔵式。
- 曲げ加工に応じた3種類のアタッチメント(ベンドシュー)付。
- 手動・電動油圧ポンプに適用。

■仕 様

品 番	適用管の呼び	管の肉厚 (mm)	能 力 (kN)	最高使用圧力	シリンダ ストローク	質 量 (kg)
SPB 520N	10A.15A.20A	2.3~10	50	70MPa	127mm	7.5
SPB1025N	15A.20A.25A	2.8~15	100	70MPa	150mm	12.0

■主要寸法・部品名称

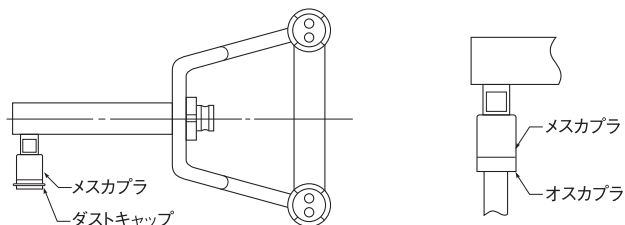


番 号	部品名称	数 量
1	シリンダ	1
2	ロックナット	1
3	ロックヘッド	1
4	アタッチメント (ベンドシュー)	3
5	六角穴止ねじ	1
6	本体	1
7	ローラー	2
8	特殊平座金	2
9	ばね座金	4
10	六角穴付ボルト	4
11	カブラ	1

品 番	R				B	D	H	L
	10A	15A	20A	25A				
SPB 520N	50	50	50	—	207	$\phi 40$	91	363
SPB1025N	—	50	50	70	244	$\phi 63$	101	395

■操作方法

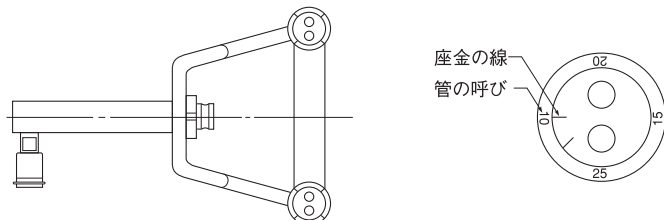
1. シリンダ側メスカブラのダストキャップ（ねじ式）を外し、ホース側オスカブラを接続して手締めで確実に結合して下さい。



2. 曲げる管の呼びを確認し、ローラー位置を下图の様にセットして下さい。

注：－1）ローラー上部に管の呼びを打込刻印しています。

- 2) 例 10Aの時、図の様に10の位置を座金の線の合わせて下さい。



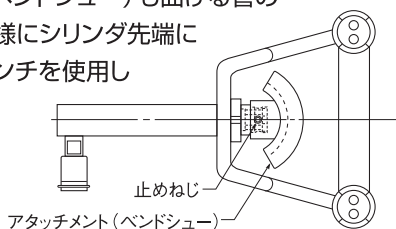
3. 又、アタッチメント（ベンドシュー）も曲げる管の

呼びに合わせ、図の様にシリンダ先端に

差込んで、付属のレンチを使用し

止めねじを締付け

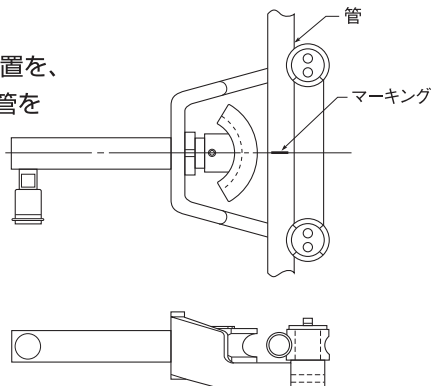
て下さい。



4. 図の様に管の曲げたい位置を、

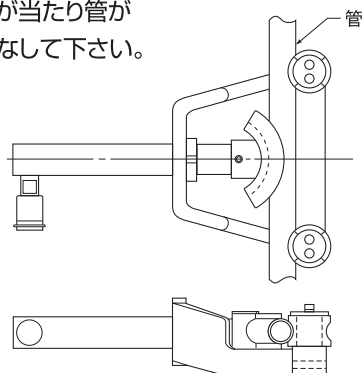
マーキングしローラーに管を

セットして下さい。



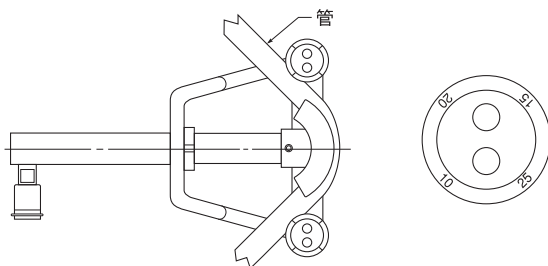
5. 次に、ポンプ（電動・手動）を作動し、管の曲げ加工を行って下さい。

この時、アタッチメント（ベンドシュー）が管に当たるまでは、管を手で保持し、管にアタッチメント（ベンドシュー）が当たり管が固定された時、手をはなして下さい。



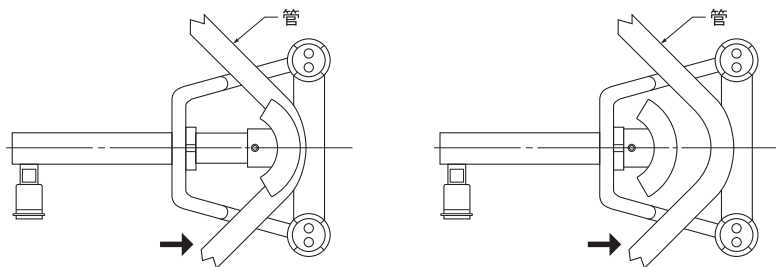
6. 図の様な位置にローラー上部の呼び数字がくれば、約90°曲げた状態です。

注：－1) 0～90°任意で曲げられますが、曲げ後、角度を確認願います。



7. 次に、アタッチメント（ベンドシュー）を戻します。

注：－1) この時、管が同時に戻ってきます。よって管を矢印方向に軽くたたいてアタッチメント（ベンドシュー）より管をはずして下さい。
（但し、管は真円になりません。）



8. 次に、説明2より繰り返し作業を行って下さい。

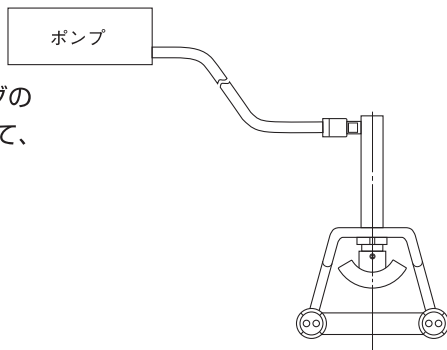
■作業上の注意

1.最高使用圧力(70MPa)より高い圧力のポンプは絶対に接続しないで下さい。

2.使用前に、シリンダーやホースの中の空気抜きを実施して下さい。

- ①空気はいったまま使用すると、
シリンダーの動きが滑らかで、なく
なり圧縮された空気が閉じ込め
られ非常に危険です。

- ②空気抜きをする時、ポンプをシリンダーの
上方に置き、シリンダーを逆さまにして、
数回シリンダーを操作して下さい。



3.ホース側オスカブラを、外す時シリンダー内に圧力が残ったまま、カブラを外さないで下さい。又、外した後は、必ずダストキャップをして下さい。

4.適用範囲外の管には、使用しないで下さい。

5.カブラは、各メーカーによって異なります。よってシリンダー側メスカブラにホース側オスカブラが合わない時は、カブラの取替をお願いします。

- ①この時、カブラが上にくる様にシリンダーを固定し、カブラを外して下さい。
(この時、異物等が入らない様にして下さい。)

- ②又、カブラを外す時、シリンダー内に圧力が残ったままカブラを絶対外さないで下さい。

6.パイプベンダーを落したり、他の物にぶついたりしないで下さい。
破損の原因となります。

7.管の曲がる方向には、障害物・人等、管に当たらない様にして下さい。

8.管とローラー、アタッチメント(バンドシュー)と管及び本体と管の間に、手・指等を絶対入れないで下さい。

9.アタッチメント(バンドシュー)、ローラー位置は必ず管に合っているか確認して下さい。

10.曲げ後、管は真円になりません。(若干変形します。)

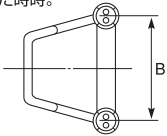
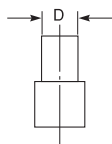

■安全上の注意

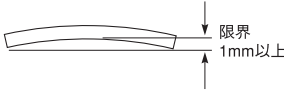
1. 適用範囲外の管は、曲げないで下さい。
2. ホース側オスカブラは、確実に結合して下さい。
3. 使用前に、空気抜きをして下さい。
4. シリンダ作動中は、アタッチメント（バンドシュー）、ローラー等に手を触れない様にして下さい。

■管理上の注意

1. 使用前には必ず、空運転を行い異常がないか確認、点検を行って下さい。
2. 改造しないで下さい。加熱、加工などをした場合、著しく品質（強度）の低下を招きます。
3. 使用後は、屋外に放置せず、保管場所をきめ保管して下さい。

■点検基準

項 目	点検方法	使 用 限 界	主な不良原因	処置											
本 体	<ul style="list-style-type: none">●きずや割れはないか。 （目視又はカラーチェック）●曲がりや変形がないか。 （目視又は測定具）	<ul style="list-style-type: none">●目視等で確認された時。●基準寸法より2mm以上大きくなった時時。  <table border="1" data-bbox="458 956 664 1043"><thead><tr><th rowspan="2">品 番</th><th colspan="2">基準寸法</th></tr><tr><th>B</th><th>D</th></tr></thead><tbody><tr><td>SPB 520N</td><td>207</td><td>30</td></tr><tr><td>SPB1025N</td><td>235</td><td>30</td></tr></tbody></table>	品 番	基準寸法		B	D	SPB 520N	207	30	SPB1025N	235	30	<ul style="list-style-type: none">●オーバーロード。●急激なショック荷重。●オーバーロード。●急激なショック荷重。	取替
	品 番	基準寸法													
B		D													
SPB 520N	207	30													
SPB1025N	235	30													
	<ul style="list-style-type: none">●軸部の変形がないか。 （目視）●軸部の摩耗がないか。 （目視又は測定具）	<ul style="list-style-type: none">●目視等で確認された時。●基準径より1mm以上小さくなった時。 	<ul style="list-style-type: none">●オーバーロード。●急激なショック荷重。●自然摩耗。●注油不足。												
ローラー	<ul style="list-style-type: none">●穴の変形や摩耗。 （測定具）	<ul style="list-style-type: none">●基準径より1mm以上大きくなった時。  <p>基準径 $\phi 30$</p>	<ul style="list-style-type: none">●自然摩耗。●注油不足。	取替											

項 目	点検方法	使 用 限 界	主な不良原因	処 置
アタッチメント (バンドシュー)	●曲がりや変形がないか。 (目視)	●目視等で確認された時。	●オーバーロード。 ●急激なショック荷重。	取替
	●止めねじが付いているか。 (目視)	●目視等で確認された時。	●自然摩耗。	補充
ロックナット	●曲がりや変形がないか。 (目視) ●緩んでいないか。 (目視)	●目視等で確認された時。 ●目視等で確認された時。	●オーバーロード。 ●急激なショック荷重。	取替
特殊平座金	●曲がりや変形がないか。 (目視又は測定具)		●オーバーロード。 ●急激なショック荷重。	取替
シリンダー	●作動しない。 (目視)	●作動不良の時。 ●オイル漏れ。	●オーバーロード。 ●自然摩耗。 ●オイル不足。	取替

株式
会社

スーパーツール

ホームページ

お問い合わせ、ご相談はフリーダイヤル ハロースーパーコール

お客様相談室 ☎ 0120-86-4859

<http://www.supertool.co.jp/>

- | | | | |
|--|-------------------------------|---------------------|------------------|
| <input type="checkbox"/> 本社・工場 〒599-8243 | 大阪府堺市中区見野山158番地 | TEL.072-236-5521(代) | FAX.072-236-5785 |
| <input type="checkbox"/> 大阪支店 〒599-8243 | 大阪府堺市中区見野山158番地 | TEL.072-236-5526(代) | FAX.072-236-3817 |
| <input type="checkbox"/> 東京支店 〒142-0041 | 東京都品川区戸越3丁目4-18
ゴールドステージビル | TEL.03-5750-2341(代) | FAX.03-5750-2347 |
| <input type="checkbox"/> 名古屋支店 〒460-0026 | 名古屋市中区伊勢山1丁目2-4 | TEL.052-323-0701(代) | FAX.052-323-0720 |
| <input type="checkbox"/> 札幌 〒003-0029 | 札幌市白石区平和通3丁目北4-20 | TEL.011-864-3581 | FAX.011-864-3590 |
| <input type="checkbox"/> 仙台 〒984-0831 | 仙台市若林区沖野2丁目8-5 | TEL.022-294-1922 | FAX.022-285-1513 |
| <input type="checkbox"/> 新潟 〒950-0855 | 新潟市東区江南2丁目6-2 | TEL.025-287-5353 | FAX.025-287-6003 |
| <input type="checkbox"/> 広島 〒733-0012 | 広島市西区中広町2-14-27 | TEL.082-293-5570 | FAX.082-293-5531 |
| <input type="checkbox"/> 福岡 〒812-0016 | 福岡市博多区博多駅南3-10-23 | TEL.092-431-1897 | FAX.092-431-1909 |